

中期経営目標シート

1. 団体の基本情報							
団体名	福岡北九州高速道路公社		設立年月日	昭和46年11月1日			
所在地	福岡市東区東浜二丁目7番53号		代表者名	理事長 喜安 和秀	区分	国OB	
出資総額	224,732,600千円		県出資額	112,366,300千円		県出資割合	50.0%
設立目的等	福岡市及び北九州市の区域並びにその周辺の地域において、その通行または利用について、料金を徴することができる指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕、その他の管理を行うことにより、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業の発展に寄与する。						
団体独自の経営計画(目標)の策定有無	策定状況	計画(目標)の名称		策定年月日	計画期間		
	有・(無)						

2. 主要事業の内容	
事業名	事業内容
福岡高速道路	福岡高速道路3号線の建設及び供用中の路線の維持、修繕、その他の管理を行うこと。計画延長60.5km、供用中59.3km。
北九州高速道路	北九州高速道路の維持、修繕、その他の管理を行うこと。計画延長49.5km、供用中49.5km。

3. 団体の役員数							
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
常勤役員数	5名	5名	5名	5名	5名	5名	
職員数	常勤(正規)	85名	95名	109名	120名	131名	134名
	うちプロパー	49名	56名	69名	80名	86名	85名
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	68名	64名	53名	51名	42名	36名
	合計	153名	159名	162名	171名	173名	170名

4. 団体の経営状況							
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
損益計算書 (正味財産増減 計算書)	経常収益	60,052	60,968	61,183	60,843	51,688	56,004
	経常損益(経常増減額)	54	26	18	24	25	31
	当期純損益(当期正味財産増減)	54	26	18	24	25	31
貸借対照表	資産	1,260,663	1,268,414	1,275,255	1,283,497	1,298,434	1,300,865
	負債	1,038,111	1,045,188	1,051,244	1,058,739	1,072,679	1,074,977
	純資産(正味財産)	222,551	223,225	224,012	224,758	225,755	225,887

※団体の経常収益:業務収入+受託業務収入+負担金事業受入金+業務外収益

(単位:百万円)

5. 県関与の状況							
人的支援 (常勤役員再掲)	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1
県派遣	8名	15名	16名	15名	20名	20名	24名
県OB	4名	4名	4名	4名	4名	4名	3名
財政支出	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
出資金	111,000千円	324,000千円	384,000千円	361,500千円	486,000千円	51,000千円	
貸付金	259,000千円	756,000千円	896,000千円	843,500千円	1,134,000千円	119,000千円	
補助金・負担金	11,955千円	12,456千円	13,708千円	15,339千円	15,481千円	15,643千円	
委託料	-	-	-	-	-	-	

6. 中期経営目標における改善目標の達成状況(H29~R3)			
改善に向けた取り組みの方向性	安心して都市高速を利用していただくため、確実な点検・維持、補修や老朽化対策に取り組む。安全・安心・円滑なサービスの提供を実施しながら、利用促進や経費削減を図り、効率的で安定的な収入確保に努める。また、事業を確実に実行するための組織を構築し、新規路線の整備及び早期事業化に向けた取り組みを実施する。		
改善目標の区分	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	達成状況、取り組み状況等	自己評価
事業活動・住民サービス	①都市高速の利用促進により社会・経済活動の円滑化を図る。	都市高速の路線や料金、走行上の注意等を分かりやすく説明したスイスマップをショッピングモールや道の駅等の集客施設260箇所に常設している。 お客さまからのご意見に基づき、ホームページに都市高速を活用した観光案内を掲載した。 福岡市及び北九州市周辺の小学生とその保護者向けに配布される冊子に、都市高速の利用を促進する広告を掲載した。 県内の自動車学校で新規免許取得者に配布される冊子に、都市高速の安全運転のポイントや出入口の紹介記事を掲載した。 上記のような広報等を実施し、都市高速の利用促進を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、福岡高速及び北九州高速とも交通量及び料金収入が減少し、目標を達成できなかった。 (交通量)【計画】279,530台/日【実績】254,205台/日 (料金収入)【計画】59,355百万円/日【実績】55,321百万円/日	B
	②橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施し、緊急措置段階発生件数のゼロを維持することにより、長期的な安全性の確保に努める。	道路構造物等の近接目視点検を確実に実施し、早期措置段階と診断された損傷を計画的に維持・補修することで、緊急措置段階発生件数ゼロを維持し、長期的な安全性の確保に努めた。	

財務会計	①借入金の調達に際し、効率的な資金調達に努め、将来の金利負担の軽減に努める。	証書借入(5年)及び公募債(10年・15年・20年)の発行という複数の資金調達を実施して金利の低減を図るとともに、元金償還時期が集中することによる借換時の金利変動リスクや特定の年限での借入れにより生じる金利変動リスクの軽減・分散を図った。	A
	②効率的な経営を推進し、安定的な収入確保による計画的な長期借入金残高の縮減を図る。	効率的な経営を推進した結果、長期借入金残高、県債務(損失)保証額はともに目標を達成した。県財政支出額は、目標設定時に計画していなかった福岡高速3号線延伸事業の県負担(出資金・特別転貸債)を除くと達成することとなる。 (県財政支出額)【計画】16,342千円 【実績】185,643千円 ※うち、福岡3号線延伸事業負担170,000千円 (長期借入金残高)【計画】473,335百万円 【実績】438,282百万円 (県債務保証残高)【計画】208,260百万円 【実績】191,090百万円	A
内部管理	①維持管理及び建設事業に必要なかつ効率的な組織・人員体制を実現するため、職員の能力を適正に評価する。	人事評価制度を導入し、適切に実施することができた。	A

※自己評価分類:
A 達成されている。概ね達成されている。
B 新型コロナウイルス感染症の影響により達成できなかった。
C 目標が達成できなかった。(Bを除く)

7. これまでの取り組みの総合評価

安全・安心・円滑なサービスの提供を実施しながら、利用促進や経費削減を図り、効率的で安定的な収入を確保するために、改善目標の「事業活動・住民サービス」、「財務会計」、「内部管理」について、取り組みを進めた結果、新型コロナウイルス感染症の影響により、交通量や料金収入については目標達成できなかったものの、その他の項目においては概ね目標を達成することができた。

8. 改善目標

団体を取り巻く環境 (R4~R8)	<p><福岡高速> ・現在国土交通省において福岡空港滑走路増設事業が進められている中、福岡高速は福岡市南部地域や太宰府IC方面からは直接空港通出入口を利用できない状況であり、福岡空港国内線旅客ターミナルへのアクセス強化が求められている。</p> <p><北九州高速> ・北九州市が進めている戸畑枝光線(街路事業)は令和5年度末に1期区間が供用を予定している。こうした中、北九州市において維持管理水準の向上や、公共事業にかかる費用縮減等を目的に有料化の手続きを行っている。</p> <p>・また、現在国土交通省においては、東日本大震災や熊本地震を踏まえ、緊急輸送道路の耐震補強を推進している。</p> <p><維持管理、運営> ・両高速とも新型コロナウイルス感染拡大による交通量の落ち込みから回復途上にあるが、今後、感染拡大が長期化すると、料金収入への影響が懸念される。</p>						
	改善に向けた取り組みの方向性 (R4~R8)	<p><福岡高速> ・福岡市南部地域や太宰府IC方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス強化と、空港口交差点をはじめとする福岡空港周辺道路の混雑緩和を目的として、福岡高速3号線(空港線)延伸事業の推進を図る。</p> <p><北九州高速> ・北九州市が行っている戸畑枝光線の有料化の手続きを踏まえ、戸畑枝光線有料化の新規事業化を目指す。</p> <p>・全国的に推進されている緊急輸送道路の耐震化を踏まえ、北九州高速1~4号線においても耐震性能向上に取り組む。</p> <p><維持管理、運営> ・都市高速の利用者に安全・安心かつ円滑なサービスの提供をしながら、適切な維持・管理や老朽化・予防保全対策に取り組むとともに、利用促進や経費削減を図り、効率的で安定的な収入確保に努める。</p> <p>・また、両高速の事業を確実に実行するための組織体制を構築する。</p>					
改善目標の区分(視点)		目標達成に向けた具体的な取組戦略等	指標	実績		目標	
	単位			H29	R3	R4	R8
事業活動・住民サービス (計画性 公益性等)	①都市高速の利用促進により社会・経済活動の円滑化を図る。	交通量 (福岡・北九州合計)	台/日	282,810	254,205	266,100	281,400
		料金収入 (福岡・北九州合計)	百万円/年	60,182	55,321	57,254	60,535
	②橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施し、緊急措置段階発生件数ゼロを維持することにより、長期的な安全性の確保に努める。	緊急措置段階発生件数	件	0	0	0	0
財務会計 (経済性)	①効率的な経営を推進し、安定的な収入確保による計画的な長期借入金残高の縮減を図る。	県財政支出額	千円	1,092,456	185,643	558,666	2,510,000
		長期借入金残高	百万円	554,253	438,282	420,824	350,289
		県債務(損失)保証額	百万円	235,481	191,090	184,346	148,454
内部管理 (健全性等)	①コンプライアンスに関する研修・教育の推進	公社職員に対するコンプライアンス研修受講率	%	100	83	100	100
		法令順守等要請回数	回	1	1	1	1
	②人材育成と技術力の向上・継承	職員研修の実施回数	回	52	75	75	75